

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 18 日作成

事務事業名	ふるさと納税事業 □ 実施計画事業	所属部局	総合政策部	単位番号	2033				
		所属課室	政策推進課	課長名	塚原 浩二				
基本政策	I 情報と連携の都市づくり	所属担当	行政運営・統計担当		担当者名				
	03 市民参加システムの構築		塚原 良仁						
政策	05 市政への直接参加システムの構築	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
			01	一般	02	01	07	050	05
施策		事業区分	□ 国の制度による義務的事業		□ 施設等維持管理事業				
			□ 県の制度による義務的事業		□ 補助金交付事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)	法令根拠	□ 市の制度による義務的事業		□ その他の事業				
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		□ 義務化されている協議会等の負担金						
事業の内容	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市を応援しようとする個人及び団体から広く寄附金を募り、寄附者の南アルプス市に対する思いを実現化するための用に供することにより、多くの人々の参加による個性豊かな活力あるふるさとづくりに資することを目的とする。	事業費の主な内訳	(25年度 決算見込)						
事業の概要		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
		その他報償費	1,149						
						計 1,149			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	ふるさと納税応援サイトに情報掲載。 特典価格の見直し。
25年度活動実績	
26年度活動予定	ホームページ等で事業周知。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	南アルプス市を応援したい人
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	ふるさと納税(寄附金)により、応援したい人の意思が、市の施策に反映されるとともに、効果的な事業が実施できる。
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	寄附者を増やすことで市内外を問わず、市の行政運営に興味を示す住民が増加する。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:南アルプスふるさと応援寄附金額	千円
イ:	
ウ:	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:寄附者	人
イ:	
ウ:	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:寄附者の充当希望金額	千円
イ:	
ウ:	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:市HPのアクセス件数	件
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	192	386	1,149	800		
		事業費計 (A)	千円	192	386	1,149	800	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間		60	100	100	100		
	人件費計 (B)	千円		273	455	455	455	0	0
	(A)+(B)	千円		465	841	1,604	1,255	0	0
活動指標		ア:千円	965.0	1,640.0	23,720.0	1,930.0			
対象指標		イ:人	39.0	123.0	192.0	193.0			
成果指標		ウ:千円	775.0	1,460.0	23,700.0	1,930.0			
上位成果指標		ア:件	268,267.0	256,188.0	257,000.0	257,100.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成20年4月30日に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充される形で導入され、それに伴い「南アルプスふるさと応援寄附金要綱」を制定した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	市の財源確保の必要性はますます高まっている。今後、更なる財源確保は必要である。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	平成21年度の総務部ワーキンググループから、本事業の活用により市の財源を確保するため、寄附者への特典制度を創設し、寄附者を拡大することの提案があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 平成22年度払込用紙付きパンフレットを作成し、配布した。
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	寄附金額に応じた特典の相当価格を見直し、より事業の目的に合致するよう努めた。

事務事業名	ふるさと納税事業	所属部	総合政策部	所属課	政策推進課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 寄附者の目的とする分野の事業に寄付金が充当されるため、寄附者が直接市政に参画しているといえる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の財源となるものであるので、妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市の財源となるものであるので、妥当である。
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 適切な特典を用意し、ホームページ等でも周知している。寄附という性質上受動的な事務である。
有効性評価	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 寄附金収入が減少してしまうため影響がある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市外に住んでいるが「南アルプス市を応援したい」という方々の思いに応えることが出来なくなる。
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費は、寄附者に対する特典を送る費用である報償費のみのため削減の余地はない。 また、すでに特典価格が適正となるよう要綱を改正することで職員の事務経費も適正な状態といえる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 特典価格が適正となるよう要綱を改正することで職員の事務経費も適正な状態といえる。
公平性評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 寄附者に対する事務事業であり、寄附金は市の財源となり市民へと還元されていくため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後も真に南アルプス市を応援したいと思っていただける方からの寄附をいただけるよう丁寧な事務を行っていく。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																
(2) 改革改善案について	コスツ水準																
現状維持。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
	削減	維持	増加														
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>														
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>															
低下	<input type="checkbox"/>																
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																
現状維持。	成果優先度評価結果 (11)																
	コスト削減優先度評価結果 (6)																